

令和3年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市旭区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

○拠点登録団体の活動内容の現状と活動上の課題を把握し、課題にあった支援を進めた。
○活動利用上限の改定により、「旭ふれあいコール」をはじめ、希望する団体に向けて活動の場を確保した。相談事業の支援として定例会に参加し、情報共有・助言を行った。

(2)拠点の利用促進に関すること

○「あさひいきいき宣言」や外部から目につきやすい外壁、窓を利用した広報を行い、PRを行った。指定管理者である区社協の持つ福祉保健ネットワークを活かし、さまざまな情報をつなぐ総合的な活動の拠点として運営を行った。

平日	利用件数			利用率		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	241	240	144	97.6%	97.2%	58.3%
多目的研修室	138	131	184	55.9%	53.0%	78.3%
点字製作室	133	43	16	53.8%	17.4%	6.5%
録音室	3	4	0	1.2%	1.6%	0.0%
対面朗読室	17	11	0	6.9%	4.5%	0.0%

土	利用件数			利用率		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	28	20	0	54.9%	39.2%	0.0%
多目的研修室	15	23	51	29.4%	45.1%	100%
点字製作室	7	3	0	13.7%	5.9%	0.0%
録音室	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
対面朗読室	3	3	0	5.9%	5.9%	0.0%

日祝	利用件数			利用率		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	13	9		19.1%	13.2%	
多目的研修室	11	10		16.2%	14.7%	
点字製作室	12	3		17.6%	4.4%	
録音室	0	0		0.0%	0.0%	
対面朗読室	2	2		2.9%	2.9%	

(3)拠点のサービスの向上に関すること

- 毎回の利用報告時、意見箱、窓口満足度調査アンケート（11月実施）などにより利用者が気軽に要望を出せる環境を整えた。窓口満足度調査のアンケート結果については館内に掲示し、寄せられた意見については、回答とともに改善策を掲示した。
- 経年劣化している設備（ブラインドカーテン、多機能トイレ）について、区役所と協議し修繕を行った。
- 古くなった備品（プロジェクター、パーテーション、配架ラック）の買い替えを行い、拠点の適正な維持管理に努めた。
- 拠点利用登録団体の状況・課題の把握を行った。
- 新型コロナウイルス感染症への対応
 - ・開館時間の変更や各種対応について、区社協 HP にて発信した。
 - ・各部屋の消毒および拠点内の定期消毒の実施などを徹底した。
 - ・感染症予防対策に関する資料の掲示、拠点内の換気、除菌用アルコールを設置した。

(4)利用調整会議等の開催

- 拠点利用にあたっての注意事項等を改めて確認、AED 利用方法確認などを含む消防訓練を行うため、拠点利用団体懇談会を2回にわけて3月7日（月）開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、書面で情報提供を行った。

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ボランティアセンターによる依頼に限らず、本会窓口を通じて寄せられる相談を様々な支援に結び付けていくことができるよう、地域関係者・機関の協力や参加を呼びかけながらマッチングを行った。
- 登録者が対応できないケースなどを検討できるよう、地域ケアプラザコーディネーターの協力のもと、旭区内の「ちょこっとボランティア」情報更新を行った。
- 担い手募集を求める団体も多くいるため、併せて周知を行った。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

- ボランティア依頼について現在の状況を確認。緊急事態宣言、コロナの感染拡大防止の影響により、ボランティアの受け入れを引き続き休止・中止している施設・団体が多い。
- 紙ベースで発信していたボランティア情報をHP上で随時更新できる形に変更。また募集しているボランティア活動情報と合わせて、ボランティア活動担い手募集等を行い、ボランティアに関する様々な情報発信として活用する。

(3)ボランティアに関する相談、紹介

- ボランティア活動継続の有無について更新作業（個人・団体）を行った。R4.3月現在、個人264（うち新規50）人、団体162（うち継続・新規33）。登録者数は前年度並みの状況で推移していたがR3.秋以降微増。コロナ禍においても活動を継続していけるよう依頼側との調整に努めた。
- 個人からの依頼については、希望を受け止めつつも、ボランティア活動の範疇であるかどうか、受け止める側の視点も含めながらコーディネートを中心掛け、地区の情報など共有しながら、よりよいマッチングを努めた。

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- 予定していた各種講座は新型コロナウイルス感染症拡大により実施を見送ったが、新たにボランティア活動者向け研修会を企画。コロナ禍によって思うような活動ができない中、これまでの活動を見つめ、新たな視点で続けていくことを目的に、個人・団体（助成団体含む）、会員、一般に向けて、R4年3月1日に動画配信を実施。
- モチベーションが下がらないよう、メールや電話を通じて登録者の状況や悩みを一緒に検討するなど相談業務を通じて関係を継続するよう努めた。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

- 「あっぱれフェスタ」の開催にあたっての協力
令和2年度に引き続き、オンライン版での開催となった。開催の際には、チラシ等を拠点内に配架した。
- 生活支援コーディネーター連絡会における「ちょこっとボランティア連絡会」等に参加し、活動団体の情報共有を行った。また、みなくるや区主催の講座、情報交換会などに参加し、旭区における活動促進に向けた課題や情報を共有した。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

- 拠点登録団体に旭区地域福祉保健計画を周知するため、冊子・周知用リーフレットを配布した。
- 地区別計画及び地区社協広報誌を配架し、地域福祉活動の情報を発信した。

4 その他

(1) 職員体制、育成

常勤職員 1名 週5日 9時～17時

非常勤職員 6名

① ボランティアコーディネーター（2名交代制）

週6日（月～土）9時～17時

② 拠点のスタッフ（4名交代制）

夜間 17時～21時15分

日曜・祝日 8時45分～13時、13時～17時15分

- 諸室の利用予約等の受付は、すべての職員が同じ水準で対応できるよう、受付マニュアルの整備や日々のOJTにより知識の向上を図った。

<職員の研修計画>

- 横浜市社会福祉協議会における区社協職員対象の研修を受講するとともに、必要に応じて他機関で実施される研修にも派遣した。

- 体系的な年間研修計画に基づき、職員への経験年数に応じた基幹研修や課題別研修を横浜市社協・区社協全体で実施した。

- 18区の福祉保健活動拠点およびボランティアセンターの担当者連絡会や研修会に参加し、社協間の連携を活かし、情報提供や共有および業務改善、職員育成を行った。

<職員間の情報共有・連携方法>

- 毎朝のミーティングや月2回の職員会議、業務日誌、グループウェア（WEBシステム）を活用し情報共有を図った。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

平日・土曜 9時～21時

日曜・祝日 9時～17時 (年末年始を除く)

※新型コロナウイルス感染症対策として、横浜市から別途開館時間の変更等について通知があった場合は、通知内容に基づき対応。

<清掃・設備の保守点検・小破修繕>

- ・エアコン 年3回点検
- ・機械警備 常時遠隔管理
- ・日常清掃 週3回
- ・定期清掃(床面機械洗浄ワックス塗り) 年4回
- ・定期清掃(床面剥離清掃) 年1回
- ・エアコンフィルター・換気扇清掃 年4回
- ・窓ガラス清掃 年4回
- ・害虫駆除 年2回
- ・AED保守 バッテリーの充電があるか毎日確認

<その他、設備点検> ※建物所有者実施

- ・電気工作物 毎月巡視点検、年1回定期点検
- ・エレベーター 3ヶ月に1回定期点検

<防犯・防火体制>

- ・防犯業務
 - 平日・土曜 閉館時～翌日8時45分
 - 日曜・祝日 閉館時～翌日8時45分
- ・防火業務 24時間

イ 苦情受付体制について

- ・本会の苦情解決規則に基づき、苦情受付担当および苦情解決責任者、公正・中立な立場の苦情解決調整委員を置き、苦情の受付から解決まで対応した。
- ・苦情だけではなく、拠点利用団体へのアンケートの実施や、窓口満足度調査により、利用者が気軽に要望を出せる環境を整えた。

ウ 緊急時(災害・事件・事故等)の体制及び対応について

【連絡体制】

- ・緊急連絡網を整備し、災害発生時や緊急時などの連絡方法を定めた。

【職員の役割分担】

- ・消防計画に基づき、防火管理者を設け、利用者の目につく場所に「ぱれっと旭災害時避難経路」を掲示するとともに、非常口付近に物が置かれていないか、毎日自主点検を行った。
- ・自衛消防組織を定め、通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急救護班とそれぞれ役割を分担し対応に備えた。

【防災訓練】

大規模地震発生時や火災発生時に適切で迅速な対応ができるよう、旭区福祉保健活動拠点自衛消防避難訓練について、実施した。

12/3 (災害発生時の対応、自衛消防隊の役割、消火機器等の確認)

3/10 (災害発生時の対応、避難訓練)

いずれも書面にて、上記内容について読み合わせを実施。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・区社協の個人情報の保護に関する規定に基づき、保有する個人情報の適正な取り扱いを行い、個人の権利・利益を保護することに努めた。
- ・職員全体に対して研修を行い、個人情報の記載された書類は鍵付のキャビネットに保管し、不用となった個人情報は必ずシュレッダー裁断することを徹底した。

オ 環境への配慮及び取組について

【ゴミ発生抑制に関する取組】

- ・各部屋にゴミ箱は設置せず、施設利用者にゴミの持ち帰りを徹底した。

【再利用・再使用・リサイクルに関する取組】

- ・ヨコハマ3R夢プランに基づき、裏紙の使用や再生紙の使用を行った。
- ・拠点内にインクカートリッジやペットボトルキャップの回収箱を設置し、利用者へ周知・回収協力を依頼した。

【温室効果ガス排出抑制に関する取り組み（グリーン購入、室温設定等）】

- ・エアコンを設置している部屋のコントロールパネルに「空調の切り忘れにご注意ください」とラベルを貼り、空調設備の適切な運営について呼びかけた。
- ・室温設定の周知・節電への協力について掲示物を用いて呼びかけた。

令和3年度 横浜市旭区福祉保健活動拠点 収支報告書

(税込、単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,436,000	514,600	14,950,600	14,950,600	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	288,000	0	288,000	213,766	74,234	
印刷代	288,000		288,000	185,988	102,012	複写機等利用料
自動販売機手数料			0	27,218	△ 27,218	自販機電気代
その他			0	560	△ 560	電話代
その他	40,000		40,000		40,000	
収入合計	14,764,000	514,600	15,278,600	15,164,366	114,234	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,180,000	0	9,180,000	8,385,373	794,627	
給与・賞金	6,940,000		6,940,000	7,473,466	△ 533,466	拠点担当常勤・非常勤職員給与等
社会保険料	1,600,000		1,600,000	772,033	827,967	法定福利費
通勤手当	362,000		362,000	120,114	241,886	職員通勤手当
健康診断費	12,000		12,000	13,760	△ 1,760	職員健康診断費
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	福祉共済掛け金
退職給付引当金繰入額	260,000		260,000	0	260,000	退職手当金
事務費	1,462,000	0	1,462,000	2,182,850	△ 720,850	
旅費	5,000		5,000	0	5,000	職員旅費交通費
消耗品費	400,000		400,000	410,829	△ 10,829	拠点事業運営にかかる消耗品費
会議諸費			0	0	0	
印刷製本費	40,000		40,000	49,500	△ 9,500	送付書類等印刷費
通信費	220,000		220,000	218,066	1,934	書類送付通信費、インターネット、電話利用料等
使用料及び賃借料	154,000	0	154,000	167,640	△ 13,640	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他	154,000		154,000	167,640	△ 13,640	複写機チャージ料
備品購入費			0	688,468	△ 688,468	拠点備品購入費
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	9,370	630	施設賠償責任保険保険料
職員等研修費	25,000		25,000	0	25,000	
振込手数料	14,000		14,000	990	13,010	EB振込手数料
リース料	517,000		517,000	254,687	262,313	複合機・AED等リース料
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	77,000		77,000	383,300	△ 306,300	文書廃棄費用ほか
事業費	488,000	0	488,000	373,972	114,028	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,000		488,000	373,972	114,028	
管理費	2,978,000	514,600	3,492,600	3,213,633	278,967	
光熱水費	1,102,000		1,102,000	1,038,733	63,267	光熱水費
清掃費	1,000,000		1,000,000	976,400	23,600	拠点清掃委託費
修繕費	150,000	514,600	664,600	814,600	△ 150,000	修繕費
機械警備費	500,000		500,000	158,400	341,600	機械警備委託費用
設備保全費	226,000	0	226,000	225,500	500	
空調衛生設備保守	149,000		149,000	148,500	500	空調保守点検費用
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守	77,000		77,000	77,000	0	衛生害虫駆除業務委託費
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	0	0	
公租公課	656,000	0	656,000	413,100	242,900	
事業所税			0	0	0	
消費税	656,000		656,000	412,300	243,700	消費税
印紙税			0	800	△ 800	契約用収入印紙購入費
その他			0	0	0	
その他			0		0	
支出合計	14,764,000	514,600	15,278,600	14,568,928	709,672	
差引	0	0	0	595,438	△ 595,438	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	488,000	0	488,000	373,972	114,028	
自主事業 収支	△ 488,000	0	△ 488,000	△ 373,972	△ 114,028	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	27,218	△ 27,218	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	27,218	△ 27,218	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。